

夏のスタディーツアー2017

8月7日から2週間の夏のスタディーツアーを行いました。参加ボランティアさんたちは、貧困層から富裕層、子どもからお年寄りまで、様々な環境・人と触れ合いました。そのなかで、ボランティアとはいったい何なのかと考え、与えられたプログラムだけではなく、自分たち自身でもプログラムを考え実行しながら、日々活動に励んでいました。ハードスケジュール、少人数の中でも毎晩遅くまで考えを共有あって、ボランティア概念の変化を感じながらたくさんの経験をしていました。それらの経験の中でも、ボランティアとは自分がしたいことではなく、相手が求めている支援をすることであると、みんなで感じることができました。

さらに、寝食を共にすごしていく中で、同じ志を持った者同士が語り合い、年齢・性別の壁を越えた、かけがえのない仲間との出会いができたようです。ツアー当初に比べると、顔つきや話し方が頼みしくなり一人一人が輝きを増したようにみえます。当団体のスタディーツアーではただ「楽しい」だけでなく、人生の糧となる「生涯学習」を実施しています。来年も開催予定ですので、ぜひHP等をご確認ください。



セブ日本人会土曜市(ミニ盆踊り大会)に参加しました!

8月12日(土)にセブ日本人会が主催する土曜市に参加しました。出店するものを決めるところからスタディーツアー中のボランティアさんが中心となり取り組んでくれました。今回は、ベビーカステラと飲料の販売と、子ども向けのプレイグラウンドを運営しました。当日は、子どもたちとボランティアさんが一緒にDAREDEMO HEROブースを盛り上げてくれました。

ステージ上では浴衣を着た子供たちが、日比両国の国歌斉唱を堂々と歌い上げました。土曜市ではたくさんのプログラムが準備されており、フィリピン人が大好きなダンスであるズンバも開催され、子どもたちもボランティアさんたちもステージを占領する勢いで、全力で楽しんでいました。

会場にはセブ領事事務所鶴岡領事、降幡所長や、セブ日本人会櫻井会長、多くの日系企業経営者の方々がお見えになっており、子供たちが普段接することのできない多くの日本人にお会いする機会を頂きました。参加したボランティアさんにとっても子供たちにとっても貴重な経験となりました。

ロベリンの現在

7月20日に奨学生ロベリンの最愛の母親が急死しました。貧困層は貯蓄がないため、このような急病・急死などによる突然の出費に対応することができません。今回皆様の温かいご支援により、無事に葬儀・埋葬を行うことができました。

しかし今現在、ロベリンは祖父母の家に弟と身を寄せています。彼女は新しい環境に移り、新たな問題にぶつかっています。祖父母には収入がないため、これからも彼女が勉強に打ち込み、夢をかなえられるように、多方面からの支援を今後も続けていくつもりです。

今回皆様からご支援いただきました合計は135,000円です。そのうち葬儀・埋葬費として7万円を使わせていただきました。また、生活が安定するまで、日々の追加支援を行っていきます。皆様のご支援がなければ、葬儀・埋葬もできなかったはず。改めまして皆様のご支援に心から感謝いたします。



Newインターン SAYAKA

皆さんこんにちは。考えても分からないことはとにかく行動!そして恩返し!がモットーのSAYAKAです。インターンを始めて1ヶ月経ち、自分がどれだけ愛されて育てられてきたのか、そして私はどれだけ人が好きか実感しています。そのおかげで、言葉が通じなくても、相手の心と名前を大切に接したいと心から思っています。また、ビジネスマナー不足を痛感しているため、その体得にも励んでいます。様々なことを任せていただける、考えさせていただけるこの環境でたくさんのことを吸収できるように頑張ります。そして、DAREDEMO HEROにまた帰ってきたときに今の何倍も力になり恩返ししたいです!よろしく願いいたします!

